

平成30年度政務調査活動実績報告

議員名 中内 桂郎

私が目指す県政は「身近な県政の実現」である。それだけに注目している県政課題は多岐にわたっておるがどれも身近に感ずるものばかりである。しかしもっとも力を入れたいものは、財政運営である。この事は、県議会議員がひとしくもっていなければならない大きな課題である。市議会議員当時も現在の県議会議員当時も歳入のことはあまり云わず歳出のことを云う人が多い。このことも大事であるが「入があって出」があることを忘れずにいてほしい。予算のことをしっかりと身につけた議員像を目指してほしいと思いたい。

もう一つは、「現場に足を運んでほしい」ことである。このことは、これをやってほしいと頼まれたら、しっかりと自分で足を運び確認することに徹底してほしい「人の話をよく聞く」ことである。

今後に於いてもしっかりと地域の人たちの声を大切に頑張る所存である。

その1つの例であるが、ショウガの青枯れ病対策である。農家の人より相談を戴き、その対策として数回に渡って足を運び話をし、県の農林部に話を持っていき、その実現を果たした。このところは、もっとも大きな喜びである。土佐市だけの喜びでなくて、四国や日本中のショウガ作りの人達に大きな安堵感ができ、農業にいそしんでもらえるものと思う。